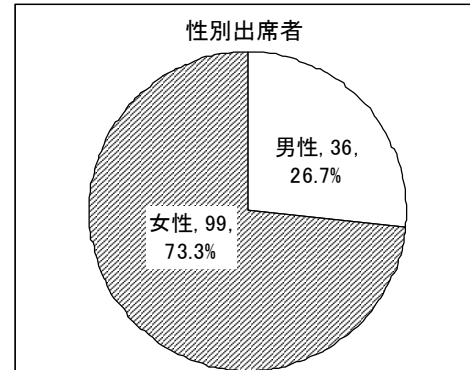


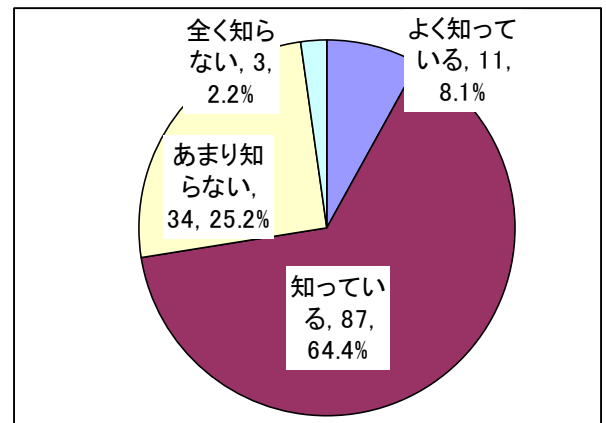
平成25年12月18日（水）
後楽館高等学校1年生

1 アンケート回答者集計

男性 36人（26.7%）
女性 99人（73.3%）
計 135人

2 「がん」という病気について知っていましたか
(人)

	女性	男性
よく知っている	6	5
知っている	66	21
あまり知らない	25	9
全く知らない	2	1



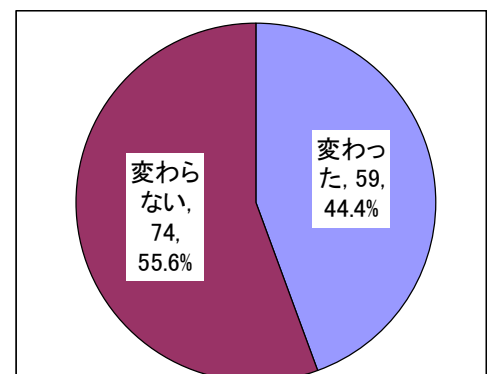
3 「がん」に対するイメージを教えてください

- 死ぬ、死ぬかもしれない病気：45人 治らない、治りにくい病気：18人
- こわい：15人 治療が大変：13人 髪の毛が抜ける：8人 転移する：7人
- 抗がん剤で治療：7人
- 早期発見しなければ治癒率が下がる。早期発見すると治る確率が上がる。：6人
- つらい、悲しい病気：6人 痛い：6人 重い病気：4人 副作用：4人
- しんどい病気：3人 ずっと病院にいななければいけない病気：3人 ねたきり：3人
- 治療にお金がかかる：2人 黒いイメージ：2人 難しい病気：2人 など

4 話を聞いた後の「がん」に対するイメージは変わりましたか。

(人)

変わった	59
変わらない	74



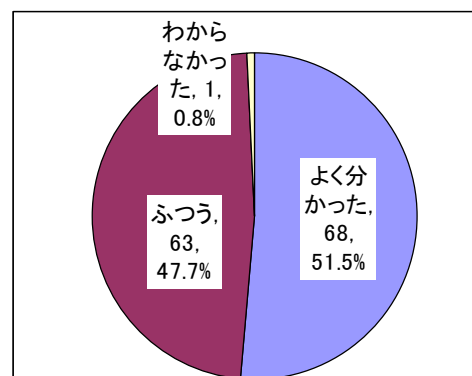
5 「はい」と答えられた方はどう変わりましたか。

- ・ 早期発見、早期治療が大切：10人
- ・ 身近な病気ということ：7人
- ・ 早期発見で治る確率が高い：6人
- ・ 外来でも治療できる：4人
- ・ がんは防ぐことができる。がんになる確率を下げることができる：4人
- ・ 死ぬというイメージが変わった：3人
- ・ たばこを吸ってもがんになる人はなる、がんにならない人はならない：2人
- ・ たばこを吸っていなくても、受動喫煙でがんになる確率が高くなる：1人
- ・ 家族で話し合いをしようと思った：2人
- ・ がんは患者が悪いわけではない、周囲の人が悪いわけでもない：2人
- ・ 検診を受けようと思った、若い人でもがんになる、精神的にもサポートしてもらえるのはよい、
- ・ 医療が進んでいる、必ずしも手術とは限らない、頑張れば治る(?) ちょっとだけわかった
- ・ がんにはいつなるかわからない。 ・ とても大変 ・ おそろしい病気 等

6 「がん」の病気について理解できましたか

(人)

よく分かった	68
ふつう	63
わからなかった	1

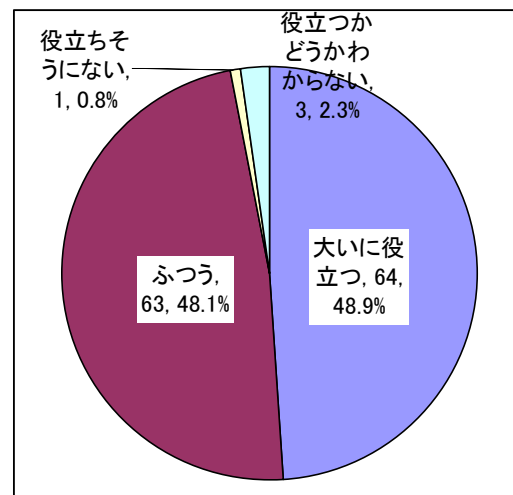


7 患者会の方の話を聞いての感想を書いてください。

- ・ 検診を毎年受けようと思った。 36人
- ・ 早期発見が大切と思った。いつ発見されたかで治療が違い、早期発見で負担が少ない。 26人
- ・ 予防が大切、生活習慣、食生活に気をつけようと思った。 11人
- ・ がんは怖いと思った。身近な人(家族)ががんになると思うと怖かった。 9人
- ・ わかりやすかった。説得力があった。信憑性があった。元気な人になんてほしくないという気持ちが伝わってきた。大切なことと思った。 9人
- ・ がんになると大変と思った。 7人
- ・ がんは身近な病気と思った。 6人
- ・ 家族と日ごろからよく話そうと思った。人との会話を大事にしようと思った。周りの人たちの大切さがわかった。抱え込まないで家族に話そうと思った。 6人
- ・ 考えさせられた。患者さんの気持ちがわかった。祖父ががんで死亡し、内容や気持ちもわかった。患者さんの気持ちも大切と思った。周囲の声かけで変わる 5人
- ・ 患者だけでなく、家族も大変、つらいと思った。 5人
- ・ がんについてわかった。ためになった。知識がないことを知った。 3人
- ・ 治る病気。医療はすごい。治療が大事。 3人
- ・ 家族にも検診、病院に行かせようと思った。 2人
- ・ 治ってよかったと思った。 2人 ・ お気の毒、かわいそうと思った。 2人
- ・ 家で最後まで暮らしたい人と病院で楽になりたい人がいることがわかった。
- ・ がんはいろいろな体の細胞を蝕む。 ・ がんに対する偏見や誤解のないようにしたい。
- ・ 若くてもがんになること。 ・ がんになったら仕方ないと思った。

8 今日の話は、これからの貴方の生活に役立ちそうですか

	(人)
大いに役立つ	64
ふつう	63
役立ちそうにない	1
役立つかどうか分からない	3

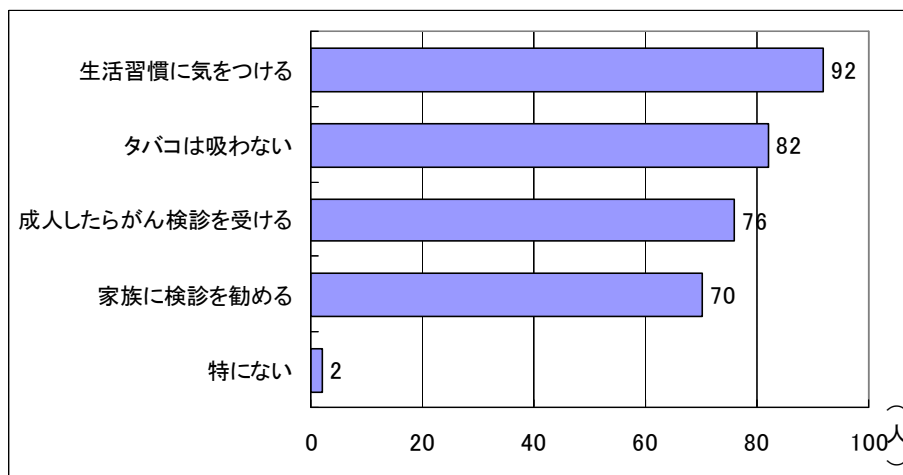


9 授業を受けてあなたやあなたの身近な人が「がん」にならないためにできることは何ですか？

(人)

複数回答可

特にない	2
家族に検診を勧める	70
成人したらがん検診を受ける	76
タバコは吸わない	82
生活習慣に気をつける	92



10 その他 109人記入あり

- ・ 私は正直、自分のおばあちゃんががんで亡くなっているのであんまりがんの話は聞きたくありませんでした。でも、改めて話を聞いてみて早期発見が大切ということが分かりました。早く見つけられたら、がんは治るということが分かりました。がんにならないために、自分たちにできる予防はしようと思いました。
- ・ がんは、いつ誰がかかるかわからない身近な病気だから、自分自身も気をつけながら生きようと思った。
- ・ 「重い病気」というイメージだったけど周りによって、患者の意識が変わることが分かった。
- ・ 2人に1人はがんになると聞いて驚きました。私ももちろん油断できないし、親なんかもっと心配なので、帰ってがん検診を絶対すすめようと思いました。

- がんという病気が怖いというのは変わりませんが1人で戦う病気ではなく、家族や病院の先生も一緒に戦う病気なんだなと思いました。また、がん検診に行くことで早期発見できるということを聞いて両親にも聞いてみようと思いました。
- がんの大変さや、支援する人たちの存在が分かった。
- 多少、話が難しかったので欲を言うともう少し噛み砕いて話してほしかった。
- 私が思っていたものほぼ同じでした。ただ、緩和ケアというのは、死ぬ前に痛みを取り除くことなのかなと思っていたけど、それだけではなく、痛みを緩和させて、がん(病気)を治す手伝いをするものなのだと知ることができました。また、がんというのは、怖いというものだけではなく、早く見つければ治るものなのだと改めて考えることができた。
- がんは若い時からかかる病気なんだなと思いました。がん検診を毎年受けることで早期発見ができるんだなと思いました。
- 今日、医学的な話と、患者側の話が聞けて良かった。がんは2人に1人になる病気だと知って驚いた。がんにかからないために、習慣に気を付けようと思う。
- 家族の大切さがわかりました。家族とこういった話をする事で家族みんなで気を付け、乗り切ることができるなと思いました。

「がん」に関する教育アンケートまとめ

平成26年1月28日（火）
後楽館高等学校3，4年生
受講者 22人

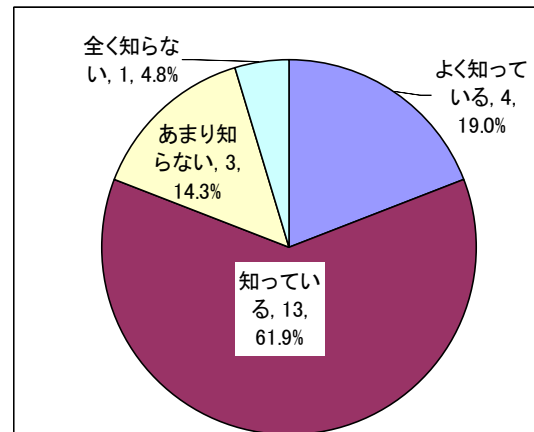
1 アンケート回答者

男性 5人 女性 16人 計 21人

2 「がん」という病気について知っていましたか

よく知っている	4
知っている	13
あまり知らない	3
全く知らない	1

(人)



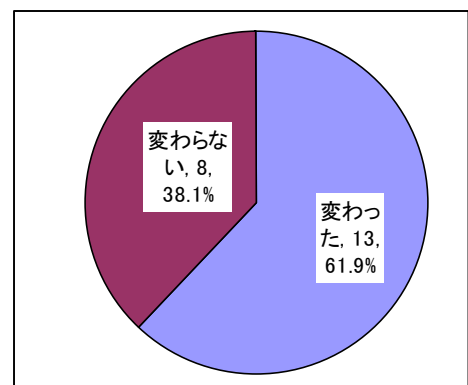
3 「がん」に対するイメージを教えてください

- ・ 治りにくい、治らない：5人
- ・ 怖い、恐ろしい：5人
- ・ 痛い：4人
- ・ 死：3人
- ・ 多くの人がかかる、子どもから大人まで幅広くかかる、身近な病気：3人
- ・ 重い病気：2人
- ・ 早期発見が少ない：2人
- ・ やせる、つらい、お金がかかる、皆が苦しむ、手術する病気、おじいちゃんがかかる病気、しんどいになったら仕方ない

4 話を聞いた後の「がん」に対するイメージは変わりましたか。

変わった	13
変わらない	8

(人)



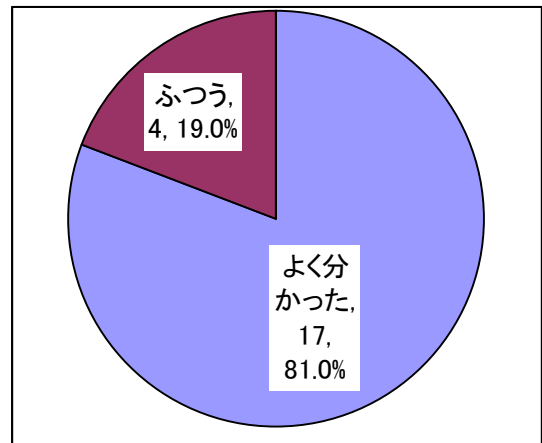
5 「はい」と答えられた方はどう変わりましたか。

- ・ 早期に発見できたら治る：6人
- ・ 正しい知識がなかった：2人
- ・ 正しい知識を得ることが大切：2人
- ・ 身近な病気
- ・ 死に近い病気
- ・ がんに関わった時の乗り越え方
- ・ 考えた以上に辛い（重い）

6 「がん」の病気について理解できましたか

よく分かった	17
ふつう	4
わからなかった	0

(人)



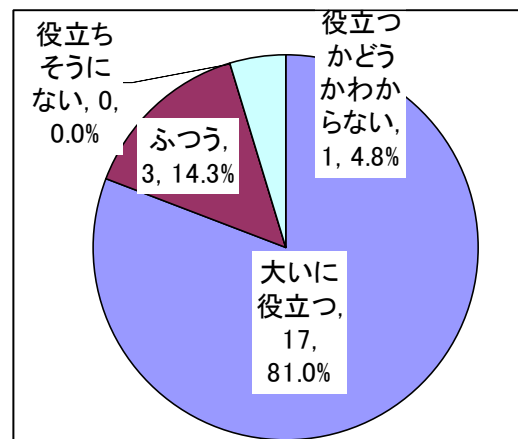
7 患者会の方の話を聞いての感想を書いてください。

- ・がんはなった本人だけでなく、その周りの家族の人たちにもちゃんとケアが必要なのだったと思った。
- ・すごく心が痛んだ。自分は何も知らないと感じた。
- ・がんにかかってよかったという言葉に驚いた。思っていたより治療は大変そうと思った。
- ・経験話を聞いてくれてありがたかった。多種多様な治療法があることがわかった。
- ・多くの人たちに助けてもらったんだと思った。
- ・実際に話を聞き、自分がこれから何をすべきか考えることができた。
- ・一人ひとりの人生を変えてしまう。
- ・どんなつらいことがあっても前向きに考えられる所がすばらしいと思いました。
- ・がんについてもっと知っておきたいと思った。
- ・思った以上に重い話だった。 ・ 世の中いろいろな人がいて、大変だなんて思いました。
- ・小さな幸せを探します ・がんは人生をも狂わせる恐ろしい病気だとわかった。
- ・患者さんのつらさははかり知れないと思いました。 ・がんになると心がつらくなるんだと思った。
- ・検診を受けてがんの早期発見できるようにする。がんに対するイメージを変えることができた。
- ・実際に体験されたお話は改めて「がん」はどのようなものかを考える良い機会になりました。
- ・大変な思いをされたんだなあと思います。
- ・患者さんももちろん辛い、家族も辛いので心理ケアが大切である。
- ・自分の母が同じ状況になったら、家庭の事情もあり、働かなければならないと思った。

8 今日の話は、これからの貴方の生活に役立ちそうですか

大いに役立つ	17
ふつう	3
役立ちそうにない	0
役立つかどうか分からない	1

(人)

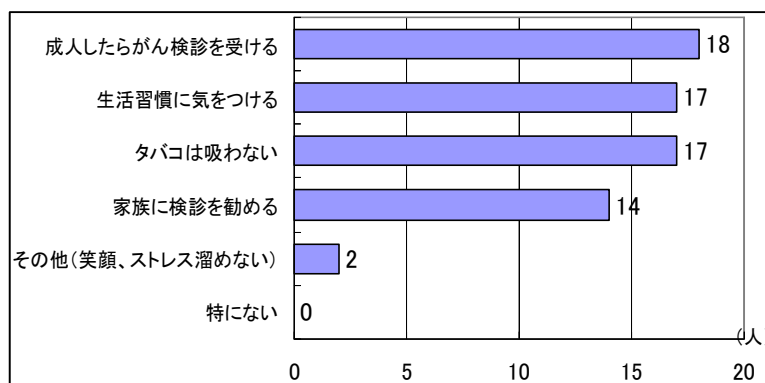


9 授業を受けてあなたやあなたの身近な人が「がん」にならないためにできることは何ですか？

複数回答可

特にない	0
その他(笑顔、ストレス溜めない)	2
家族に検診を勧める	14
タバコは吸わない	17
生活習慣に気をつける	17
成人したらがん検診を受ける	18

(人)



10 その他

- ・がんは確かに重くてつらい病気なのだけれど、周りの人たちのケアがしっかりしていれば、がんは防げるのだと思った。
- ・何だか自分のことのように感じるようになりました。多分何も知らないという気持ちが申し訳ないと思った。でも、少しのことでも良いと思ってもらえる行動があることを知った。
- ・早期発見が何より大切だと改めて思った。身近な人ががんになった時は、できる限りの手伝いをして、安心して治療を受けてもらいたいと思った。
- ・体験談を話していただきありがとうございました。がんについてより詳しく知ることができて良かったです。
- ・がんについて知ることができた。検診をうけることは大切だと思った。
- ・家族が病気なので心苦しい。つらい。
- ・普段聞けないことがたくさん聞けました。
- ・できることが沢山あることを知った。
- ・話が聞けて良かったです。これからの人生に役立てようと思います。
- ・がんは怖いけど、ちゃんと向き合うことが大切なんだと思った。
- ・とても貴重なお話を聞けたと思う。家に帰って親にがん検診を受けることを勧めようと思った。
- ・家族がなっているので、良いサポートができたらしかったです。
- ・岡大の先生やがん経験者さんの話を直接聞けて良かったです。私もしっかり気をつけようと思った。
- ・がんを難しく考えないで自分がまず冷静に落ち着くことが大事で自分の感情をコントロールすることが大切だと思った。
- ・「がん」が日本人の2人に1人かかると聞いて驚いた。身近な人がかかる可能性もあるのでその時にどう行動したらよいか考えられて良かった。
- ・やはり早期発見が大切なのだなと思った。成人したらしっかり検診を受けたいと思う。
- ・患者さんのお話を聞いてがんにかかってなくて良かったと思いました。そのためにも早期発見の重要性を伝えたいです。
- ・お話を聞いて改めて「がん」について知りました。自分自身が気をつけるとともに、他の人にも注意を促すことも重要なのだと理解した。
- ・心に重く響いた

講演会「がんに関する教育」

ねらい： 健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識が持てる。

日 時： 平成25年12月18日（水） 13:25～14:15

場 所： 大講義室

講 師： 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 西森 久和 医師
岡山がん患者・家族連絡協議会 守屋 節子さん

対 象： 岡山市立岡山後楽館高等学校1年生 159名

配布物： 資料，リーフレット，アンケート

進行表：

時 間	内 容	担当者
13:20	集合（13:25に始められるように） 資料，リーフレット，アンケート配付	山本
13:25～ (5分)	講師紹介	
13:30～ (40分)	「がんに関する教育」	西森久和医師
14:10～ (10分)	「がん患者会の立場から」	守屋節子さん

がんに関する教育

平成26年1月28日(火)
13:25~15:15
岡山後楽館高等学校3,4年生

ねらい：健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識を得て、がん患者への理解を深める。

講 師：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 西森 久和 医師

岡山がん患者・家族連絡協議会 山邊 裕子さん、守屋 節子さん

進 行：岡山後楽館高校 山本教諭

- * 前半は講義形式、後半はグループ討議形式（1グループ7人の4グループとする。）
- * 模造紙 1枚、フセン（大判）色マジック 布ガムテープ 両面テープ

時 間	内 容	担当者
13:25~ (5分)	あいさつ、講師紹介	山本教諭
13:30~ (30分)	講話 がんに関する講義（冊子を活用してください） <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入：がんは身近な病気？ ・ がんのなりたち ・ がんにかかりにくくする方法 ・ がんを見つけるために 	講師：西森先生
14:00~ (15分)	がん患者の立場から がんを経験し、生徒に伝えたいこと	講師：岡山がん患者・家族連絡協議会 山邊さん、 守屋さん
14:15~ (10分)	休 憩 机を4グループに並び替える	
14:25~ (30分)	グループワーク テーマ ○2つのグループ「今日の講義を受けて、自分のこれからの生活の中で、できること」 G：西森先生、山本先生 G：高本、山本 記録・発表役を決める。講義を受けての感想、がんについて知れたこと・ <u>がん予防や早期発見</u> のためにできること等話し合う。話し合った内容を模造紙に記録する。 ○ 2つのグループ「もしも、身近な人ががんになったらその人のために自分ができること（患者の理解）」 G：守屋さん、那須 G：山邊さん、木尾 記録・発表役を決める。講義を受けての感想、もしも、	進行：那須

時 間	内 容	担当者
	<p>身近な人ががんになったらどう接するか等について話し合う。話し合った内容を模造紙に記録する。</p> <p><u>テーマは、各グループの代表者によるくじで決める、模造紙（別添）・付箋・ペン</u></p> <p>＊ グループ討議では、一つの意見に1枚のフセンを使用し、意見を言った人が模造紙に貼っていく。</p> <p>＊ グループ討議が進む中で、同じ内容の意見はグループ化していく。（例；生活習慣：食事・運動・休養、検診受診等 患者理解：普段からの人間関係、特別扱いしない等）</p> <p>グループ化は助言者側が状況を見ながらリードしていく。</p>	
14:55 (10分)	テーマ毎で、どちらかのグループに発表してもらう。他のグループには発表内容以外のことがあれば付け加えてもらう。	進行：那須
15:05 (10分)	最後に西森先生、患者会の方（時間を見て1名ないし2名）からコメントを一言ずつ言ってもらう	西森先生 岡山がん患者・家族連絡協議会
15:15 終 了	アンケートについて	進行：山本教諭

<机の配置>

講義・・・講義式

グループワーク・・・机を6つずつ合わせる

